



いいがた映画塾
生みの親

ふるさわ としふみ

古澤 敏文氏 講説会



「白痴」(’99) プロデュース



「家山子とラケット〜亜季と珠子の夏休み〜」(’15) 原案



「ひかるどうぶつえん」(’16) プロデュース



20年前、新潟で大規模なロケを行った映画「白痴」製作に際し「いいがた映画塾”やろう!”と声を上げたプロデューサーの古澤敏文氏をお招きし、映画製作と地域活性化をテーマにお話を聴きます。

「映画製作と地域活性」

いいがた映画塾 創立 20 周年記念 講説会

2017

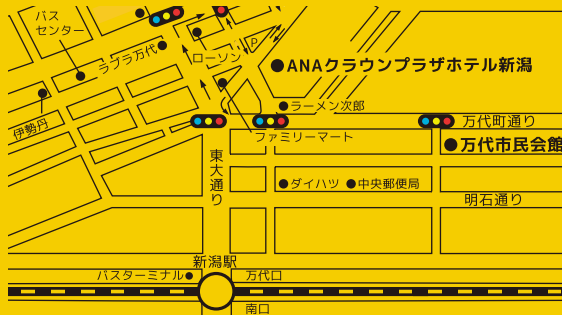
日時

2/12 日

開場 13:15～ 開演 13:30～

場所

新潟市 万代市民会館 3階 視聴覚室
新潟県新潟市中央区東万代町 9-1

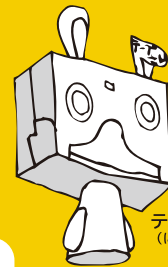


入場料

無料 (定員: 40名)

(事前予約不要、直接会場までお越し下さい。但し、定員に達し次第、入場をお断りする場合がございます。ご了承ください。)

講師 プロフィール



テップさん
(いいがた映画塾キャラクター)

佐賀県鳥栖市出身。映画・地域連携プロデューサー、北京電影学院客員教授・元東京藝術大学非常勤講師。大学時代に「狂い咲きサンダーロード」(’80)や「爆裂都市」(’82)にメインスタッフとして参加。その後、手塚眞監督「星くず兄弟の伝説」(’85)や「夢みるように眠りたい」(’86)、「ロビンソンの庭」(’87)に関わる。「悪魔の毒々モンスター」(’84・米)など合作プロデュースや、蜷川幸雄監督「水の女」(’90・NHK)、「冬の旅」(’91・同左)など多くの海外ロケを担当。長年参加した「ぴあフィルムフェスティバル(PFF)」では「裸足のピクニック」でスカラシップの大きな転換を図る。

人材育成では、福岡・群馬での同様の取り組みを実施した後、大規模な新潟ロケを行なった「白痴」(’99)製作に際し「いいがた映画塾」を立ち上げる。その他、Dシネマフェスティバル(川口)、日中韓横浜学生映画祭、中国映画祭(横浜)の立ち上げに参加。世界一周映画制作プロジェクト「ON THE BOAT」(’01)を実施。

近年は地域文化振興の基盤づくりに注力し、00年、全国フィルムコミッション連絡協議会立ち上げの際は「白痴」の製作時の地域連携の資料を提供し、そこら横浜店の「シーガルシアター」は、地域NPOや行政との連携で大きな成果を収めた。15年、(社)ファースト・ワンを立ち上げ、横浜市金沢動物園をアーティストと盛り上げる「ひかるどうぶつえん」(’16)をプロデュース。2017年は芸術支援活動やイベントを通じて、地域における児童の教育環境改善を図る試みを開始する。

本講演においては、いいがた映画塾立ち上げ時のエピソードや、映画やアートプロジェクトを通じた地域活性について語って頂きます。

▶ お問い合わせ

いいがた映画塾20周年パーティー実行委員会
矢部 (☎ 080-1043-4876) まで

主催：市民団体 いいがた映画塾

いいがた映画塾



homepage: <http://n-eigajyuku.jimdo.com>

facebook: [niiigataeigajyuku](https://www.facebook.com/niiigataeigajyuku)

blog: <http://ameblo.jp/eigajyuku/>

共催：いいがたロケーションネットワーク

後援：新潟市

協力：新潟市民映画館シネ・ウインド
国際映像メディア専門学校
いいがた国際映画祭実行委員会